

1. 教育計画

疾病の成り立ちと回復

分野	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復	科目名	病態治療学Ⅳ (内分泌・代謝疾患)
単位・時間	運動器・リハビリと合わせて1単位・30時間(10時間)	対象学年	2年生
方法	講義	時期	後期
講師名(担当時間数)	外部講師 宇佐見 啓治(10時間)		
学習目標	内分泌・代謝機能に関する特徴的な病理と診断基準及び治療について学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	医学書院：専門分野Ⅱ 成人看護学(6) 内分泌・代謝		
参考文献			
履修上の留意			
講師からのメッセージ	内分泌・代謝は比較的難しい分野です。しかし患者さんの数も年々増加傾向にあり、看護の立場からも無視できない状況です。特に糖尿病は、薬理療法に頼らず食事や運動という基礎的な治療によって改善し患者さんへの効果を発揮するケースが多くみられます。一緒に勉強しましょう。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	内分泌・代謝器官の機能と構造	内分泌器官とホルモンの機能 主な症状 内分泌疾患の検査	講義	
2	2	疾患の理解(1)	視床下部—下垂体前葉系疾患 視床下部—下垂体後葉系疾患 甲状腺疾患	//	
3	2	疾患の理解(2)	副甲状腺疾患 副腎疾患 性腺疾患	//	
4	2	疾患の理解(3)	糖尿病の分類・診断・治療・合併症	//	
5	2	疾患の理解(4)	脂質異常症 肥満とメタボリックシンドローム 尿酸代謝障害	//	
6	2	評価	筆記試験		